

日本脊椎脊髄病学会 平成 28 年度第 2 回国際委員会議事録

日 時 : 平成 28 年 5 月 12 日 (木) 午前 7:00-8:00

場 所 : パシフィコ横浜会議センター 3 階 会議室 318

出席: 松山幸弘担当理事、湯川泰紹委員長、金山雅弘委員、根尾昌志委員、矢吹省司委員、川原範夫委員、田中雅人委員、富士武史委員、大鳥精司委員、秋田大学・本郷道生先生(宮腰尚久アドバイザーの代理)

欠席: 岩崎幹季委員

1. English oral session の演題発表と選考

会場をもう少し main の会場とし、座長を外国の先生に依頼する方向との報告がされた。聴衆(参加者)を増やすために英語の特別公演とは重ならないように配慮する。またオプションとして 1 つの会場で英語のセッションを 1 日中通して行う試みが提案された。次期学術集会で実施できるように秋田大学にお願いすることになった。

2. 台湾のトラベリングフェロー受け入れ(第 2 回)について

2016 年は 2 名を受け入れる。大阪大学関連病院(JCHO 大阪病院、大阪労災病院)、金沢医科大学・金沢大学で受け入れ予定との報告があった。受け入れ時期に関しては、インスチュルメンテーション学会、側弯症学会、基礎学会等を外すことを考慮すると、10 月 31 日から 11 月 13 日にかけての 2 週間を第一候補とする。最終的には、金沢大学にも相談して決定する事とした。

3. 2016 年以降のアジアトラベリングフェローの訪問先

2016 年度の訪問先 12 施設の確認が行われた。台湾、ベトナム、インドネシアの施設は指導者の高齢化で代替わりの可能性があり、また他にも引退される先生も多く、引き続き訪問先施設の新規開拓を行う。また可能であれば本年度も開拓を兼ねて視察を予定する方針となった(インドも考慮に入れる)。

4. 2014(H26)、2015(H27)のフェローと訪問先アンケート結果

アンケートの確認が行われた。概ね評判は良好であったが、手術が見られなかった施設においては点数が低かった。欠損値があり、アンケート提出を徹底することになった。

5. 2017 JSSR の招待医師

台湾の会長(Dr. Shih-Tien Wang)、韓国の会長(Prof. Whoan-Jeong Kim)、Prof. Ki-Tack Kim(慶熙大学、韓国)を招待することが確認された。残り 2 名の優先順位は、下記の順番である。

Prof. Kenneth Cheung(香港大学)

インドの脊椎外科学会の学会長(田中委員より推薦あり)

Dr. 呂(ルー)(台湾、高雄医学大学附設中和紀念病院)

Dr. Chris Chan Yin Wei (マレーシア)

本郷先生から研修単位の締切りがあるので、なるべく早く決定していただきたいとの意見が出された。秋田大学としては他 6 名の外国人医師を招待する予定とのこと。

6. 次回委員会の日程

新しい委員会が発足後、決めるとのことになった。